

第32回 自治体学会青森大会 研究発表セッションの参加申込み要領

平成30年8月25日(土)に開催する第32回自治体学会青森大会で、会員有志が自治の現場の実践や研究成果を発表し、参加者と意見交換する「研究発表セッション」を設けます。

下記のとおり発表者を募りますので、ふるってご応募ください。

1 応募資格

自治体学会の個人または団体会員とします。会員でない方は、発表することが内定した時点で、全員入会手続きを行ってください。

2 内容

自治体学に関わる分野の研究報告および実践報告を求めます。

なお、会場運営の都合上、応募多数の場合はお断りすることもありますので予めご了承ください。

研究発表セッションは、8月25日の午後に開催します。

3 選考

応募されたエントリーシートの内容に基づき、選考を行います。選考の基準は次のとおりです。

(1) 内容による選考基準

- ① 自治体学会の趣旨に合致しているか
- ② 今大会にふさわしい内容か

(2) 運営上の選考基準

- ① 応募者多数の場合、会員の発表機会の拡大のため、新規応募者を優先します。
- ② 研究報告と実践報告のバランスを考慮します。
- ③ 報告者の属性(研究者、公務員、研究者、議員、NPO 団体職員、マスコミ、市民等)のバランスを考慮します。
- ④ 公募分科会との重複エントリーは認めません。

4 発表

発表内定者は、選考決定と併せて通知する提出期限までに、当日配布の「当日資料」に掲載する発表要旨を提出してください。

発表は、8月25日(土)午後に、公開で行っていただきます。1件あたりの発表時間は、約25分(発表15分+講評・質疑応答10分※)を予定しています。

また、発表にはパソコンは利用できません。発表者は、研究発表セッション当日に必要な資料を配布してください。

なお、司会、コメンテーター及び企画部会担当者が事前に発表の詳細を把握し、充実した研究発表セッションにするため、発表者が当日配布する資料3部を、8月10日(金)午後5時(期限厳守)までに企画部会担当者に送付してください(できる限り電子データでお願いします。)

※発表者の人数によって、発表の時間配分が変わることもあります。その場合は事前に連絡します。

5 報告概要の執筆(全員) / 「研究論文」等の執筆・投稿(希望者のみ)

発表者に、当日の質疑も踏まえた報告概要を執筆していただき、司会・学会誌「自治体学」32-1号に掲載します。締切及び字数については、発表者に通知します(掲載にあたり、司会、コメンテーター及び企画部会担当者が校正をします。)

また、希望者は、発表をもとに研究論文や研究ノートを執筆し、学会誌「自治体学」に投稿することができます(査読つき)。投稿は随時受け付けていますが、学会誌は通常、春・秋の年2回発行されますので、発行の概ね3ヵ月前までに査読を経たものが、その時点の学会誌に掲載されます。

6 スケジュール

発表のエントリー(3月中旬～5月7日(月)締切)

- ↓ ※エントリーシートは自治体学会ホームページからダウンロードできます。
- ↓ ※選考を行い、結果を通知します。(6月上旬頃)
- ↓ ※発表内定者のエントリーシート(報告要旨)は、自治体学会ホームページに掲載

